



- 松戸
- 上本郷
- 松戸新田
- みのり台
- 八柱
- 常盤平
- 五香
- 元山
- くぬぎ山
- 北初富
- 新鎌ヶ谷
- 初富
- 鎌ヶ谷大仏
- 二和向台
- 三咲
- 滝不動
- 高根公園
- 高根木戸
- 北習志野
- 習志野
- 薬園台
- 前原
- 新津田沼
- 京成津田沼

鷺沼城址公園



習志野市 ▲鷺沼城址公園

かつては畑が広がるこの地で？墓の前方後円墳が昭和40年に発見され、翌41年に発掘調査が行われました。調査の結果6〜7世紀頃に豪族の墓として造営されたと推測されています。鎌倉時代の豪族であった鷺沼源太光義の居城がこの地にあつたと言われておりますが、断定できるものは未だ発見されておられません。現在では鷺沼城址公園となり市民の憩いの場所として親しまれております。

藤崎森林公園



▲藤崎森林公園

緑に覆われたこの公園は、昭和51年4月に開園されました。春は桜、梅雨時は菖蒲や紫陽花が楽しめます。園内にある「旧大沢家住宅」は長生郡長生村宮成にあった旧家を移築したもので、史料によると建築年代が寛文4年(1664年)に建てられた、東日本では最古のものと言われております。昭和48年に習志野市に寄贈され、現在では千葉県の重要文化財に指定されています。

鉄道連隊線路跡

現在ハミングロードとして親しまれているこの遊歩道は、明治44年に千葉から高津(八千代市)津田沼を経て松戸まで通ずる軍用軽便鉄道として建設され、終戦まで使用されてきました。戦後、線路は残っていたものの遊休地同然でしたが、昭和35年自衛隊に101鉄道建設隊が発足すると津田沼〜高津間に再度線路が建設され、鉄道建設隊の演習線として使用されておりました。しかし昭和41年に同隊が解散され現在では遊歩道となっております。また、この軍用線の中でも津田沼より松戸まで通ずる跡地は、現在新京成線として沿線住民の足となり活躍しております。

実本郷公園と鴉田家住宅



▲旧鴉田家住宅

かつてこの地は実本郷村と呼ばれ、浜田川に沿って谷津田が広がり水田、田畑の広がる豊かな田園地帯であったといわれています。高台には実本郷集落があり、この村にあった鴉田家住宅は、平成3年3月5日に習志野市の文化財としての指定を受け、その後同市へ寄贈されました。鴉田家住宅の特徴は、主に右手奥南部地方で多く見られる曲屋形式の建物で、千葉では大変に珍しい造りとなっています。曲屋とは、住居と蔵を「かぎ」型に棟続きにならべて建てたものですが、実際に鴉田家では曲屋部分を土間として使用しており、馬の飼育はしていません。現在は、実本郷公園に移築され、一般にも開放されています(平成17年3月29日千葉県有形文化財指定)。

習志野七福神巡り

京成津田沼駅～実本郷駅 約12.0km

1 大黒天(慈眼寺) 習志野市鷺沼3-6-30 福徳開運、財産授与

2 福祿寿(東漸寺) 習志野市津田沼4-1-21 子孫繁栄、長寿の神様

3 恵比寿(東福寺) 習志野市谷津2-11-17 交通安全、商業の神様

4 毘沙門天(西光寺) 習志野市谷津1-2-15 邪気払い、大願成就

5 布袋尊(正福寺) 習志野市藤崎2-11-9 福徳円満、金運招福

6 弁財天(薬師寺) 習志野市大久保1-17-14 音楽、芸能の神様

7 寿老人(無量寺) 習志野市実本郷2-13-1 長寿延命、身体健全

※車には十分ご注意ください。